



ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO

ポーランド広報文化センター
駐日共和国ポーランド大使館
東京都目黒区三田 2-13-5 153-0062 Japan Tel. +81 (03) 5794-7020
www.instytutpolski.org

2020 年 4 月 23 日

駐日ポーランド共和国大使館、ポーランド広報文化センター

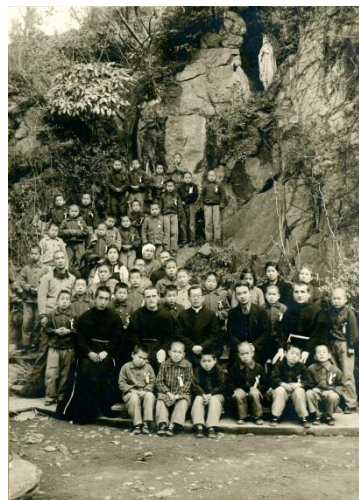
ニュースリリース

聖マクシミリアン・コルベ、ゼノ修道士

来日（1930 年〔昭和 5 年〕4 月 24 日）90 周年

2020 年 4 月 24 日は、フランシスコ会のポーランド人修道士たちの来日の 90 周年記念日です。

強い意志と使命感を持ち、海を越えて日本にやってきた修道士たちのことは日本ではあまり知られたところではありませんが、真摯に祈り、人を助けようとする心は現代の私たちも学ぶべきものでしょう。



孤児たちと、長崎市本河内ルルドに

写真提供：ポーランド共和国大使館所蔵

1930 年 4 月 24 日、マクシミリアン・マリア・コルベ神父、ゼノン・ジェブロフスキ修道士など 5 名のポーランド人宣教師（他に、ヒラリー・ウィサコフスキ修道士、セヴェリン・ダギス修道士、ジグムント・クルル修道士）が、長崎近郊の大波止港に到着しました。ヤヌアリオ早坂久之助司祭の出迎えを受け、司祭宅に投宿しました。マクシミリアンは、すぐに、現地神学校で哲学の授業を担当することを提案し、それは大きな歓喜と関心を持って迎えられました。それを通して、間もなく、宣教師、仏僧、さらには信仰を持たない人々の知己を得ました。コルベ神父は、一月後の 1930 年 5 月 24 日には早くも、日本語版「聖母の騎士」は現実になろうとしている、と電報に書いています。第 1 号の部数は 1 万を数えました——2 千部は長崎で配布され、8 千部は全国のカトリック教徒に送られました。12 月に部数はすでに、2 万 5 千に上っていました。1931 年 1 月、マクシミリアン神父は、日本のニエポカラヌフ開設を決意しました。修道院は「無原罪の園」と名づけられ、1931 年にはすでにその建物の利用が始まり、教会は 1934 年に聖別されました。第二次世界大戦中の 1945 年 8 月 9 日



ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO

ポーランド広報文化センター
駐日共和国ポーランド大使館
東京都目黒区三田 2-13-5 153-0062 Japan Tel. +81 (03) 5794-7020
www.instytutpolski.org

に長崎に原子爆弾が投下された後、ポーランドのフランシスコ会修道士たちは、修道院の中に、原爆の結果家族を失った子供たちのための避難所を開設しました。

現在、日本社会、特にカトリック教徒の間では、ポーランド人フランシスコ会修道士の歴史についての記憶が強く残っています。それは他ならぬ長崎という、ポーランドの聖職者たちによって、ポーランドが、宗教的な文脈以外だけでなく、人道的援助の点においても、広く認知されている土地において顕著です。

多くの日本人は、ゼノン・ジェブロフスキ修道士（日本では「ゼノ修道士」と呼ばれています）の活動を憶えています——彼は、1945年8月に長崎の原爆を生き延び、戦後は、他のポーランドのフランシスコ会修道士たちとともに、援助を最も必要としている人々の救済にあたり、戦後における病者・貧者救済の象徴になりました。彼は東京では、「アリの街」（現在の隅田公園の場所にあった、家を失った人々のための生活共同体）で活動을続け、子どもや弱者に食料を援助しました。

ポーランド共和国大使館とポーランド広報文化センターは、過去と現在を結びつけることによって、ポーランドの聖職者たちについての記憶の普及活動を行っています。2017年12月には、東京都写真美術館でのポーランド映画祭において、聖マクシミリアン・コルベ神父についての記録・劇映画『二つの冠』（ミハウ・コンドラト監督）が初公開されました。2017年12月11日には、長崎のカトリック・センターで、同映画の再上映が行われました。長崎では映画の一部分の撮影が行われ、後に、ポーランド共和国大使がトマシュ小崎登明修道士に、〔ベネ・メリト（善意の貢献者へ）〕 功労メダルを授与し、長年にわたる活動に感謝しました。2018年には、青山学院大学のイヴォナ・メルクレイン博士と共同で、シンポジウム「日本におけるポーランド人宣教師の活動：異文化交流の視点から」を開催しました。2018年1月には、浅草近郊の隅田公園リバーサイドギャラリーで、2019年4月には、台東区民会館で、アリの街実行委員会が製作した、ゼノ修道士に関する展示が開かれました。そのほか、日本では、ゼノ修道士が主人公のアニメ映画『ゼノ かぎりなき愛に』（1999）が作られており、石飛仁『風の使者ゼノ』などの書籍も刊行されています。

2019年3月には、ポーランド・日本国交樹立100周年記念の一環として、長崎にある「日本のニェボカラヌフ」フランシスコ修道会において、ポーランド「聖母の騎士」会が、ポーランド広報文化センターの後援を受けて制作したパネル展示「聖コルベ神父 パネル展」が開かれました。本年2月には、トマシュ・グロツキ ポーランド共和国上院議長が、来日中に長崎を訪れました。

「聖母の騎士」FB（ポーランド人宣教師の来日90周年キャンペーンについての情報が掲載されています）のウェブアドレスは以下の通り——

<https://www.facebook.com/seibonokishi/>

ご関心をお寄せいただけましたら幸いです。

このリリースに関するお問い合わせ等：

ポーランド広報文化センター
tokio@instytutpolski.org